

Eriksson&Penkerによる学習塾ビジネスモデリングの試み

事業模型倶楽部 Eriksson&Penkerチーム
沖田、白川、平川、金澤

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

目次

- 本の概要
- 学習塾ビジネスのモデリング
 - 手順
 - Business Vision View 作成
 - Business Process View 作成
 - Business Structure View 作成

はじめに

- E&PのBusiness Model with UMLはツールキットである。
 - 記法を中心に記述。
 - モデリングを行うための具体的な方法は示していないが、よくまとまっている。
 - Business Patternsで補足。
 - モデラーのお好み次第...

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

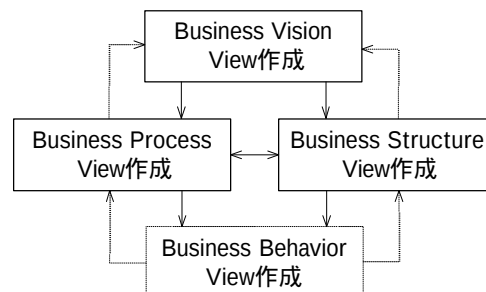
学習塾ビジネスのモデリング

Business Vision View

Business Process View

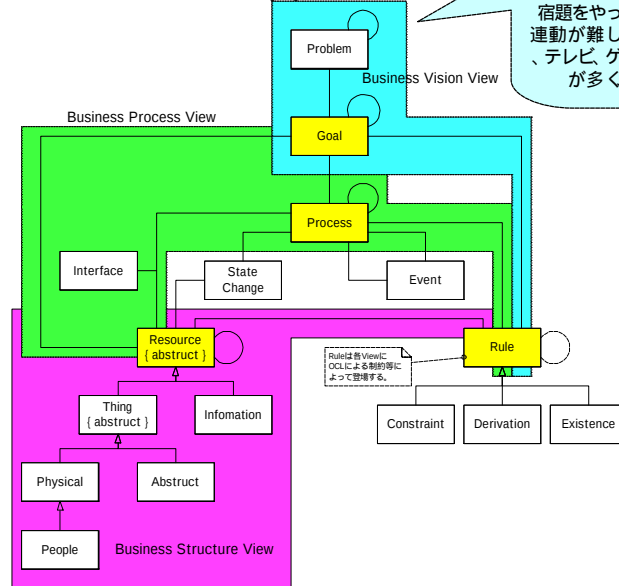
Business Structure View

Business Behavior View



コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

Meta Modelと各View



Vision Process Structure Behavior

OBJECT DESIGN
DAY 2007

Business Vision View

- VisionとGoalを明確する。
 - Vision Statement 我々は何になりたいか
 - TOWS Matrix 戦略を定義
 - Goal Model: 目標を明確化
 - Conceptual Model: 用語を定義
 - 記述方法は示しているが、手順は明確に示していない。『戦略的マネジメント』などのビジネス専門書などで補完する必要あり。

Vision

Process

Structure

Behavior

OBJECT 2004-2005
DAY2007

Vision – Vision Statement

- 我々は何になりたいか？をテキストで表明。
 - 我々は先進的な小中学生向け学習塾である。
地域ではトップシェアを持ち、指導力と顧客満足度ではトップレベルである。
我々は地域に根付いた事業展開を行い、安価でかつ生徒一人一人に合わせた柔軟な指導を提供する。

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

Vision

Process

Structure

Behavior

OBJECT 2004-2005
DAY2007

Vision – TOWS Matrix

- 自社内部の強みと弱み、外部からの好機と脅威を明確にし、戦略を定義。

全体戦略	強み	弱み
好機	戦略 (強み&好機)	戦略 (弱み&好機)
脅威	戦略 (強み&脅威)	戦略 (弱み&脅威)

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

全体戦略 ・生徒と塾との親密な関係を築き、生徒数を増やす。 ・地域密着型の事業を行う。	強み ・地域で高い信頼。 ・塾での豊富な経験。 ・小回りの利く組織。 ・素早い教育サービス開発力。	弱み ・小さな資本規模。 ・新住民には低い認知度。 ・特別なサービスはない。 ・塾の教室以外では生徒との接点がない。
好機 ・ネットワーク、携帯電話の普及。 ・保護者の教育への高い関心。	戦略(好機&強み) ・高い教育効果を提供し、生徒数を増やす。 ・ネットワークなどを利用した付加サービスを提供し、より高い月謝を得る。	戦略(好機&弱み) ・ネットワークを活用した低コストの教育サービスを開発する。 ・既存生徒の保護者の口コミによって、新規住民への知名度を上げる。
脅威 ・地域の少子化による児童数の減少。 ・競合他社の進出。 ・テレビ、ゲーム、友人との電話など誘惑による学習の阻害。	戦略(脅威&強み) ・地域でのトップシェアを確保し、生徒を取りこぼさない。 ・素早くニーズに適應した教育コースを改善し、他社との差別化とする。	戦略(脅威&弱み) ・独自の教育サービスを開発し、他社との差別化とする。 ・自宅の生徒に対して、学習のサポートを行う付加サービスを開発する。

Vision

Process

Structure

Behavior

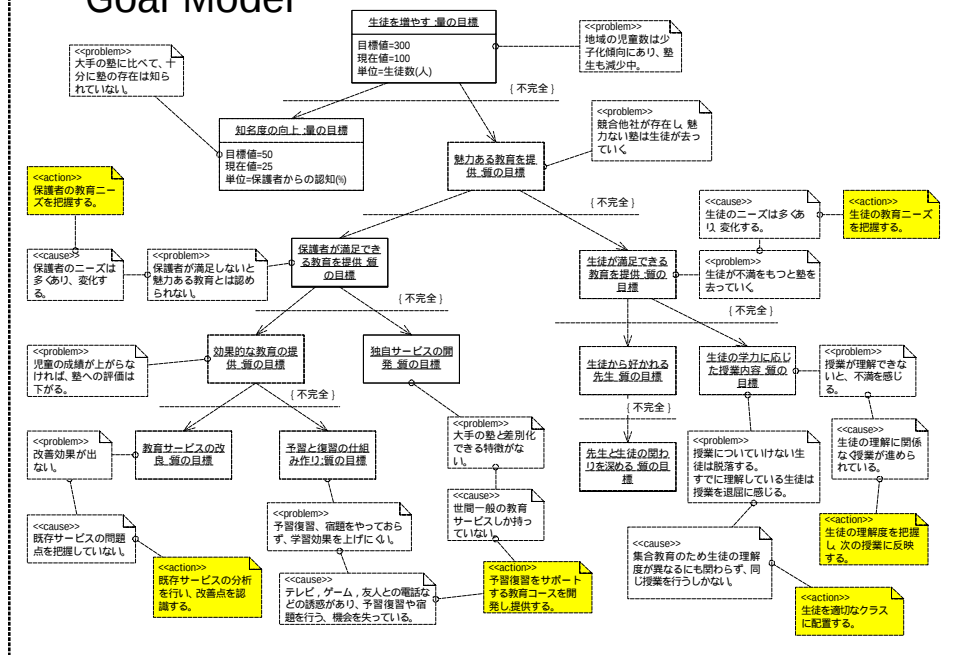


Vision – Goal Model

- 目標を定義。
 - 問題を解決するために目標を展開し、実現可能なアクションに結びつける。
 - Goalをオブジェクトで表記
 - 質の目標、量の目標
 - GoalとSub Goal間は依存関係で表記。
 - Problem、Cause、ActionはNoteで表記。
 - actionがProcess Viewのプロセスになりうる。
 - 記法のみを提供。方法はGoal Patternが参考になる。(Business Goal Decomposition, Business Goal-Problem)

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。

Goal Model



Vision Process Structure Behavior

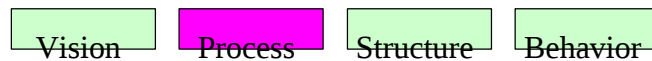
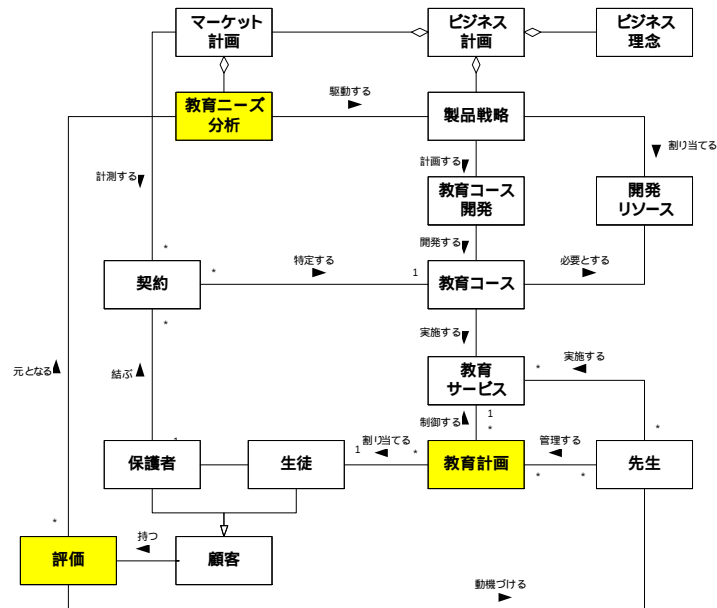
OBJECT DAY 2007

Vision – Conceptual Model

- 用語を定義。
 - すべてのコンセプトで共通の語彙を確立
 - クラス図として表記
 - 用語=クラス、用語間の関係=関連

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス図。

Conceptual Model



OBJECT DAY 2001

Business Process View (1)

- Goal Modelで立てたGoalを達成するためのプロセスの流れを記述。
 - Goalとプロセスとリソースの関係を記述。
(入力、出力、制御、資源、目的が明確になる。)
 - Process diagram 
 - UMLのアクティビティ図を使用
 - Goal, Input, Output, Resource, Controlとプロセスを関連づけ
 - Assembly line diagram 
 - UMLのアクティビティ図を使用し、パッケージを拡張。
 - パッケージとプロセス間の関連を強調。(関連のまともりはユースケースとなりうる)

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラスを、

Vision

Process

Structure

Behavior

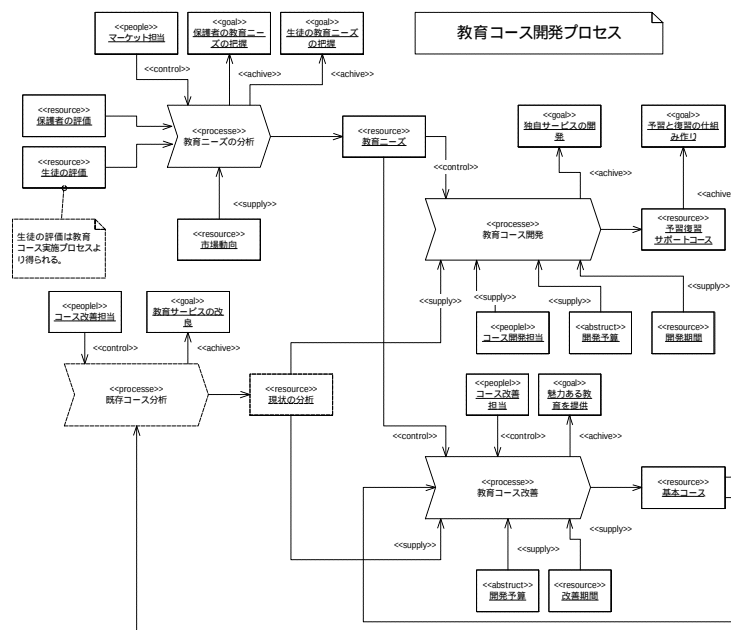
OBJECT
DAY2007

Business Process View (2)

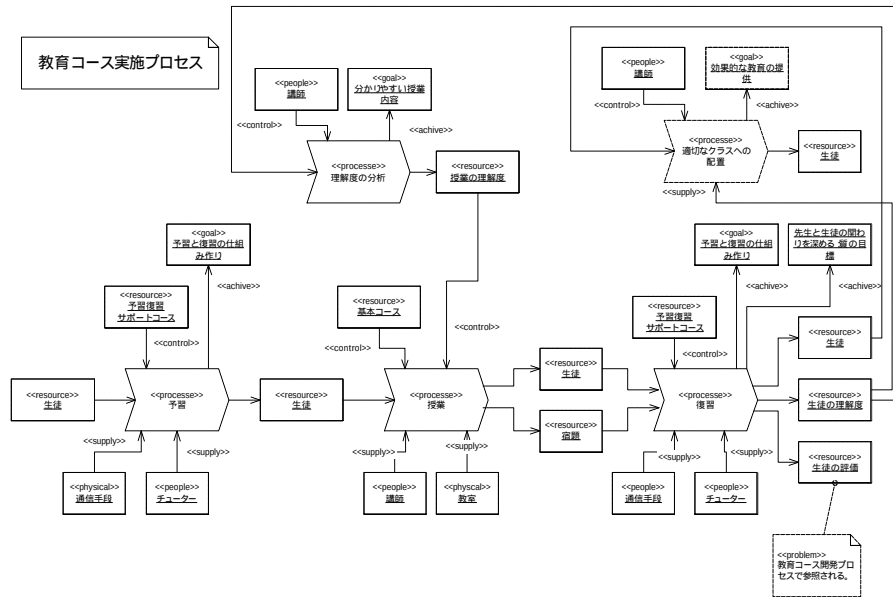
- どうやって、組み立てる？
 - 具体的な手順は示していない。
 - Process Patterns, Business Goal Allocationが参考になる。
 - Goal Modelのactionがプロセスになりうる。
 - Process Viewでの知見はVision Viewにフィードバックされる。

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラスを。

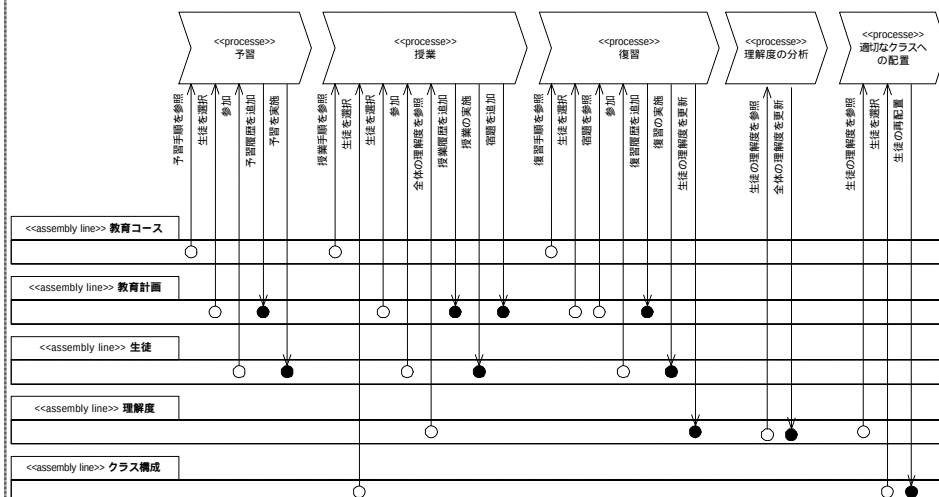
教育開発プロセス



教育実施プロセス



教育コース実施のAssembly Diagram



Vision

Process

Structure

Behavior

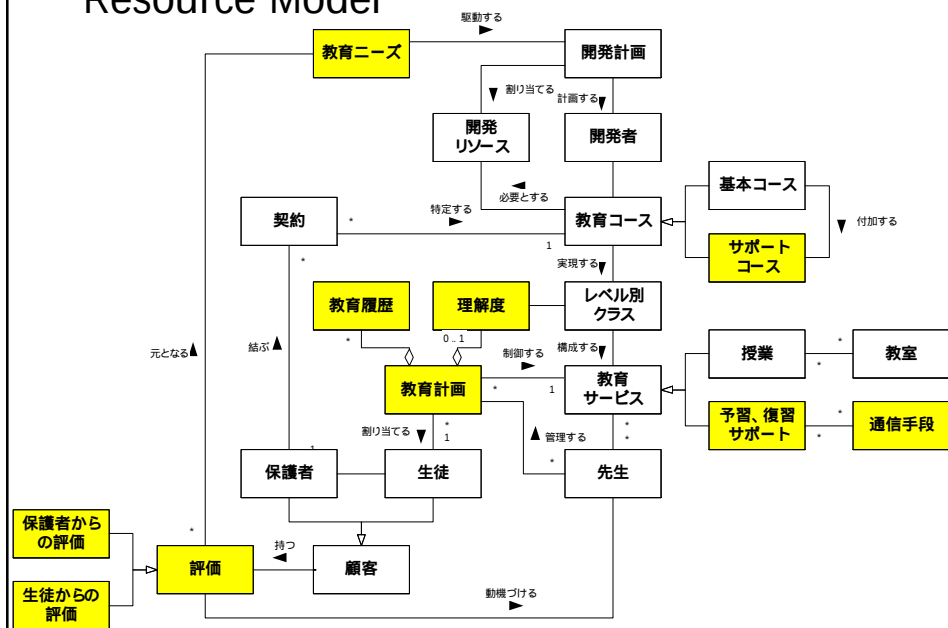
OBJECT
DAY2007

Business Structure View

- ・ リソースと組織の構造を記述。
 - Resource Modeling
 - ・ リソース間の関連をクラス図で記述
 - Organizational Modeling
 - ・ 組織構造をクラス図とオブジェクト図で記述
 - ・ リソースモデルの一種
 - 具体的な手順は記述されていない。
 - ・ Resource and Rule Patternsが参考になる。

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス図。

Resource Model



Vision

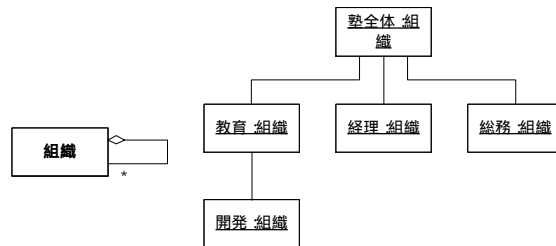
Process

Structure

Behavior

OBJECT
DAY2007

Organizational Model



コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラスを。

OBJECT
DAY2007

参考文献

- Business Modeling with UML
Hank-Erik Eriksson/Magnus Penker著
JOHN WILEY & SONS, INC.
- 戦略的マネジメント
Fred R. David著 大柳正子訳
ピアソン エデュケーション
原書 :Concepts of Strategic Management, 7th edition
Prentice Hall, Inc.

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラスを。

ご清聴ありがとうございました。

つづきは、勉強会で...

コラボレーション！
今日は、オブジェクトのクラス会。